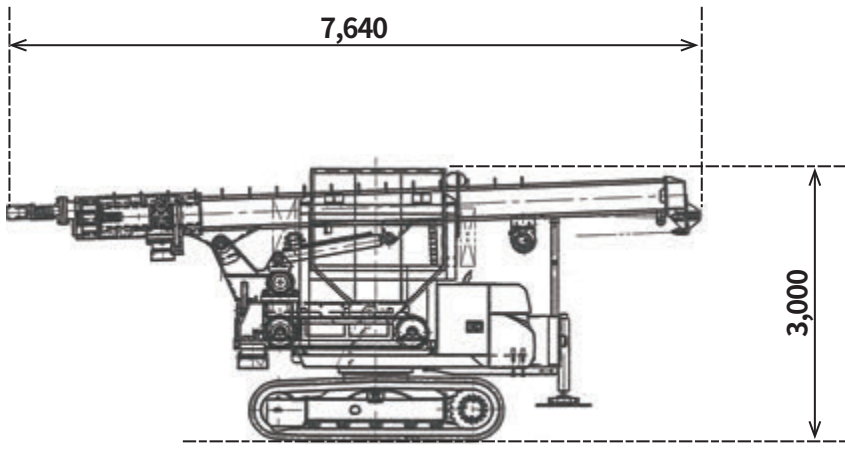
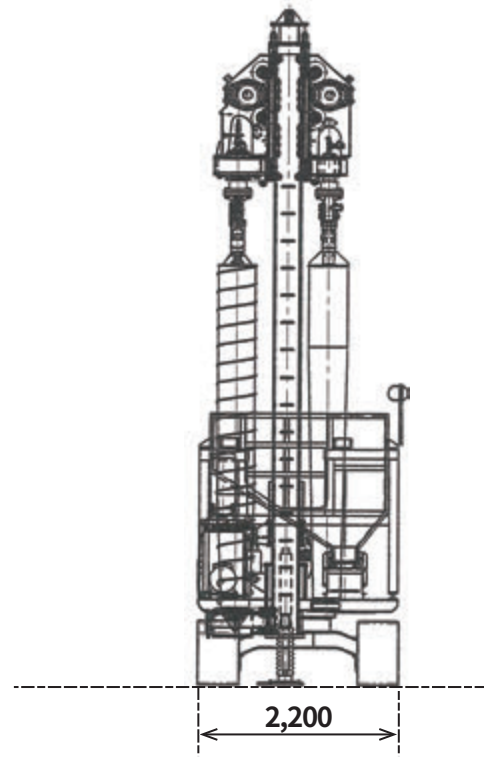
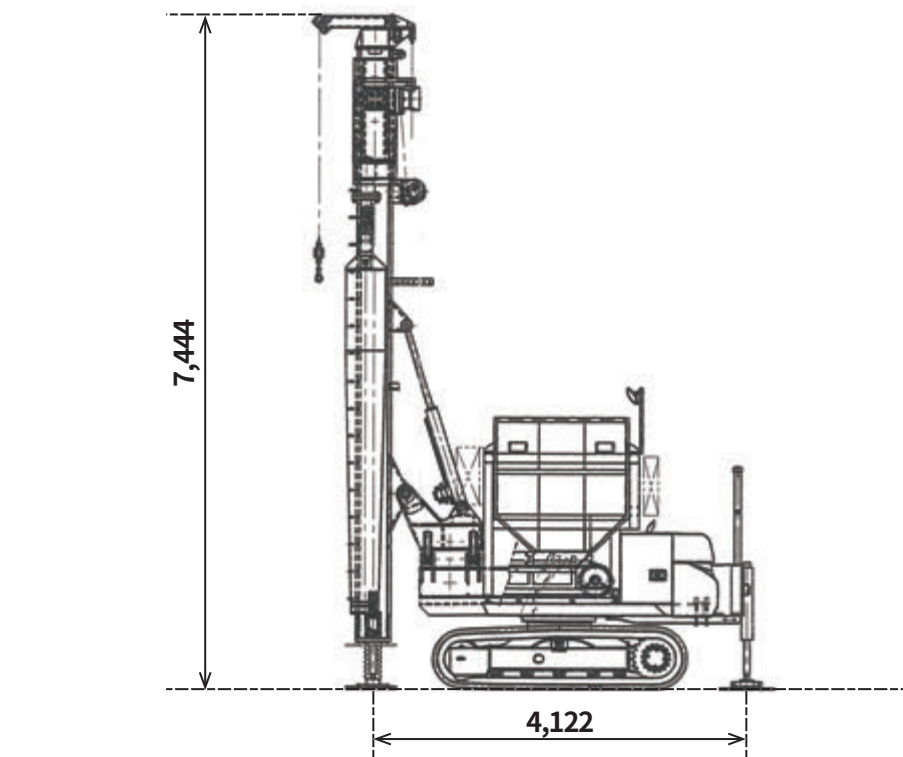


使用碎石の規格	J I S A 5 0 0 1
単粒碎石 S-5 (7号)	粒度範囲 5 mm ~ 2.5 mm
碎石パイル完成径	φ 430 mm 以上
押圧ロッド先端径	φ 300 mm
最大碎石押圧力	14,000 KN/ m ² (98KN)

スクリー・プレス専用施工機：SDM100-WTD-SP



主要諸元

● 輸送時機体質量	12.28 tf
● 全装備質量	12.95 tf
● 施工可能深度	4.0 m
● オーガトルク	19.9 KN/m
● 間伐材使用最大長	6.0 m
● 最大押圧力	98 KN

※予告なく仕様変更する場合がございます。

寸法単位 (mm)

お問い合わせ先

コンステックHDグループ

株式会社 グラントテック

本社・高岡営業所／富山県高岡市石瀬920 TEL(0766)28-1789 FAX(0766)28-1781
 事業本部／富山県氷見市上泉51 TEL(0766)91-6111 FAX(0766)91-1548
 射水営業所／富山県射水市小島3883 TEL(0766)52-7120 FAX(0766)52-7121
<http://www.grountec.net/> E-mail :honbu@grountec.net

日本の住宅地盤から 液状化被害を根絶する!!

超低コスト スクリー・プレス 液状化抑制工法



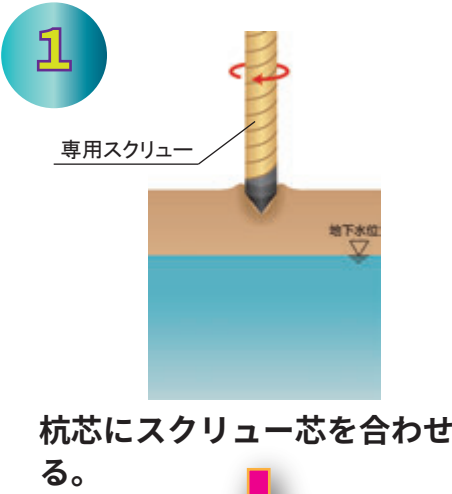
無振動
低騒音
無公害

低コスト

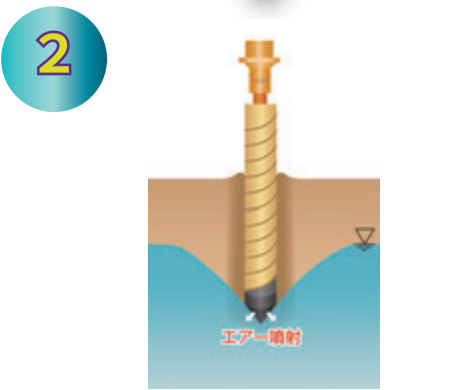
高品質
短工期



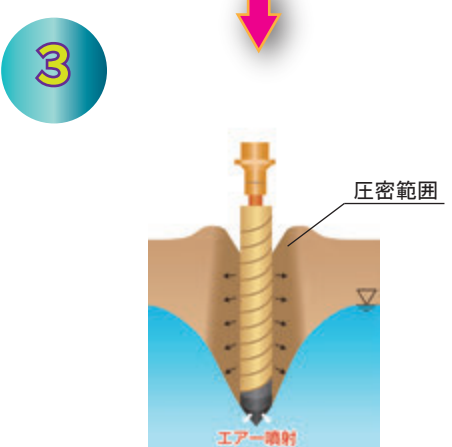
砕石パイル築造手順



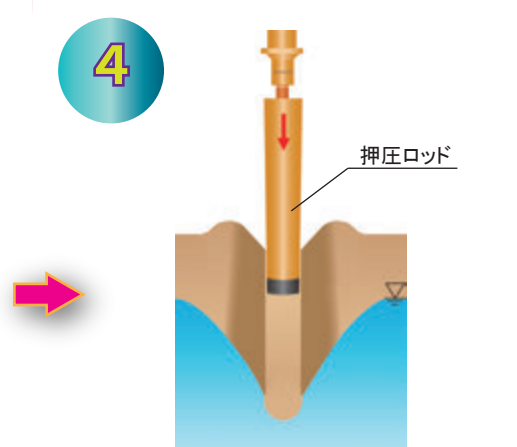
杭芯にスクリー芯を合わせる。



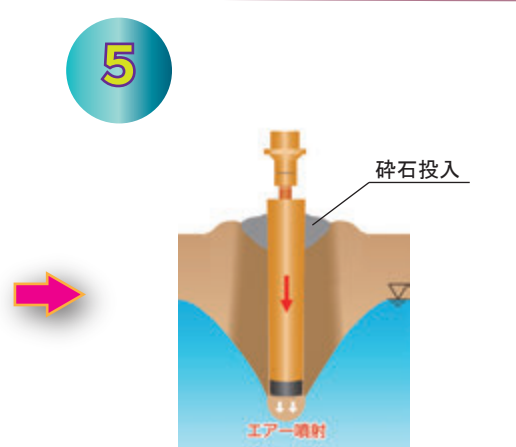
スクリーを回転しながら、地中に挿入する。この時、スクリー先端からエアを噴き出しながら削孔すると、地下水はエアに押されて周辺水位は低下する。



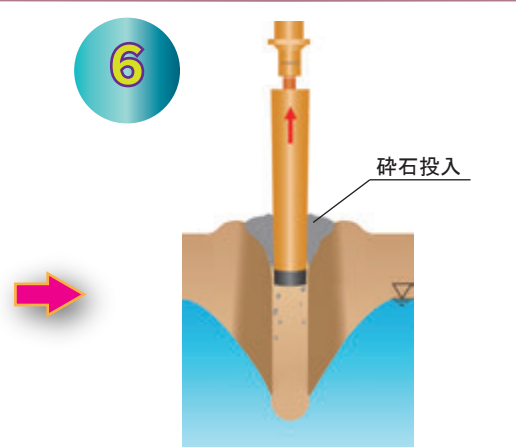
スクリーは、計画掘削深度まで挿入する。周辺地下水位は低下し、スクリー周辺は圧密され密度が上がり、強度も上昇する。計画深度まで達したら、エアを噴き出しながらスクリーを引き抜く。



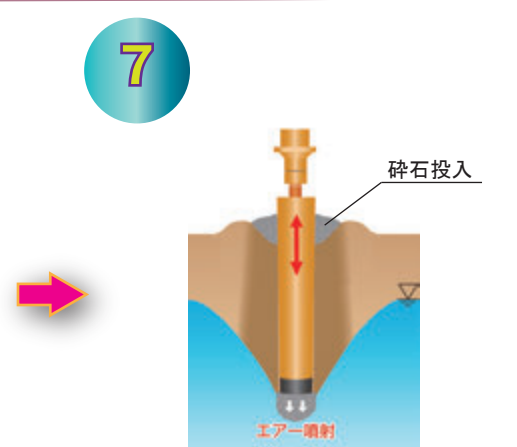
スクリーを引き抜いたら旋回し、押圧ロッドを挿入する。



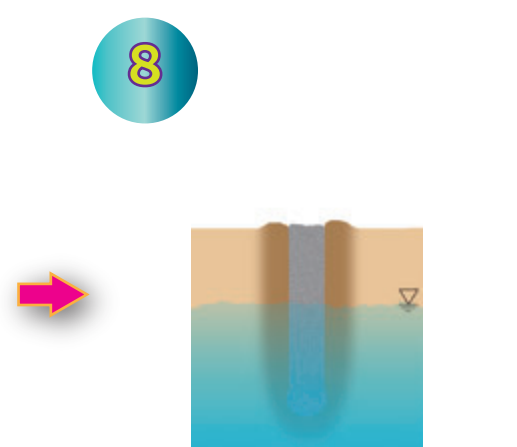
押圧ロッドの最大押圧力で出来るだけ削孔深度付近まで押圧し、下部地盤を圧密すると共に、孔の再整形を行う。
この時、地下水位が上昇しないようにエアを先端より噴き出しておく。また、押圧ロッド上部周囲に砕石を投入する。



押圧ロッドを上昇させると上部周辺の砕石は、ロッド周囲より孔下部に落下する。
砕石が全部落下すれば、再び押圧ロッドを降下させる。



押圧ロッドの最大押圧力で砕石を転圧する。ロッド上部周辺に、再び砕石を投入する。



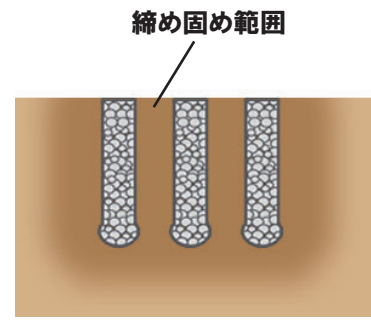
以後、これを繰り返して、G L まで砕石が充填されたら完成。

液状化抑制の原理



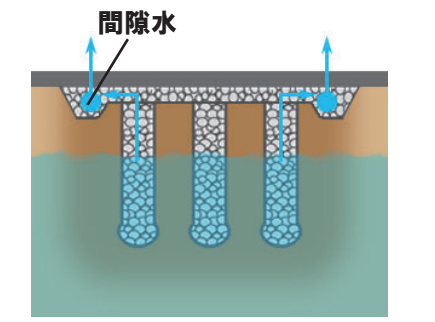
スクリー・プレス工法による液状化抑制は、砂地盤の圧密と間隙水圧消散を同時に行う「ハイフリット工法」です。

原理 ① 締め固め



現状地盤のN値を 1.7 ~ 2.2 倍程度に上昇させます。

原理 ② 間隙水圧消散



透水性が良く、しかも地下水が流動しても砂が砕石内に入らないように7号砕石を使用します。

工法の特徴



- セメントを使用しない、環境に配慮した工法です。
- 地盤改良（支持力向上）を兼ねています。
- 住宅地に適した、無振動、低騒音、短工期な工法です。
- 既存の工法と比較しても、超低コストです。
- 削孔残土の発生が、極めて少ない工法です。

実験で確認された 確かな品質

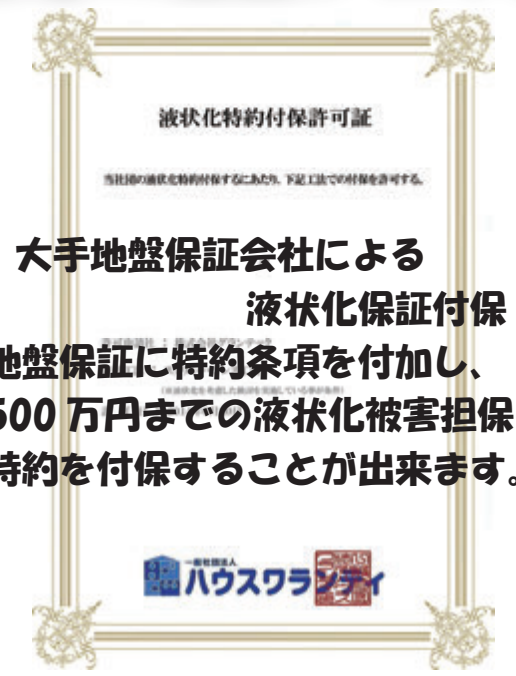


抑制効果実験を、富山県高岡市の県有地「万葉ふ頭」にて、長岡技術科学大学との共同研究を2年がかりで実施した結果、確かな効果が確認されました。

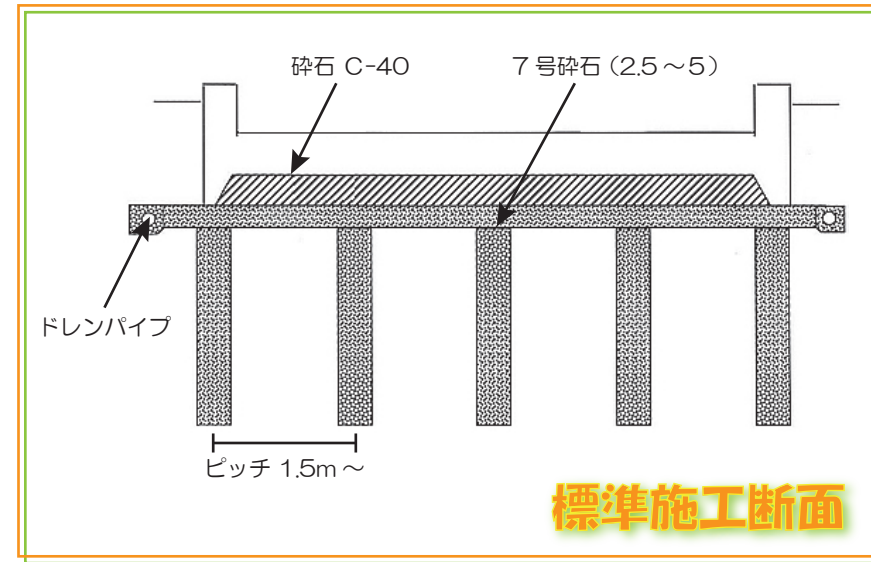


液状化振動実験中

安心の保証システム



《 大手地盤保証会社による 液状化保証付保 》
地盤保証に特約条項を付加し、500万円までの液状化被害担保特約を付保することができます。



標準施工断面